

2024年度
令和6年度

第15期
事業報告書

2025年6月20日

2024年度は第15期となり、昨年度はWebページの全面リニューアルに際し、寄付募集機能としてコングラントを導入しDXを進め、1年間を通じて運営いたしました。デジタル化に伴う寄付者からの苦情はなく、業務の負担を減らすことができました。

公2（資金循環事業）では、休眠預金事業の実施を通じ、「認知症と共生する これからの地域づくり白書」および「尊厳を守る食支援を多様な連携で支える沖縄を目指して」の2つの白書にまとめ、シンポジウムを開催し社会に発信しました。寄付と助成のプログラム「たくす」17期では15事業が採択され、多くの団体が寄付募集を行い事業実施に取り組んでいます。沖縄式地域円卓会議は19回開催し、渡名喜島や渡嘉敷島といった地域でも開催し、島嶼地域の課題について議論いたしました。

公1（情報流通事業）では、リニューアルした公益ポータルサイトを運用する一年となりました。

また、今までシェアオフィスを利用していましたが、那覇市から浦添市に事務所移転を行い、職場環境を整備し、職員数の増加、セキュリティ、情報管理の面においても強化することができました。

2024年度 方針
に基づき事業実施

- ◆ 新に構築した公益ポータルサイトの充実
- ◆ 地域円卓会議を実施し課題の可視化と共有、ノウハウの提供
- ◆ 公益税制を活用した基金事業の実施
- ◆ 休眠預金活用事業取組
- ◆ 遺贈寄付の取り組み体制づくり、普及啓発
- ◆ 寄付者コミュニケーションツールを活用しデジタル化を図る
- ◆ 財団運営を担う人材の育成（PO、円卓会議、遺贈寄付など）
- ◆ ガバナンスコンプライアンス体制の構築（総務チームの結成）

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、
市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動
団体が自律的かつ継続的に活動
できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

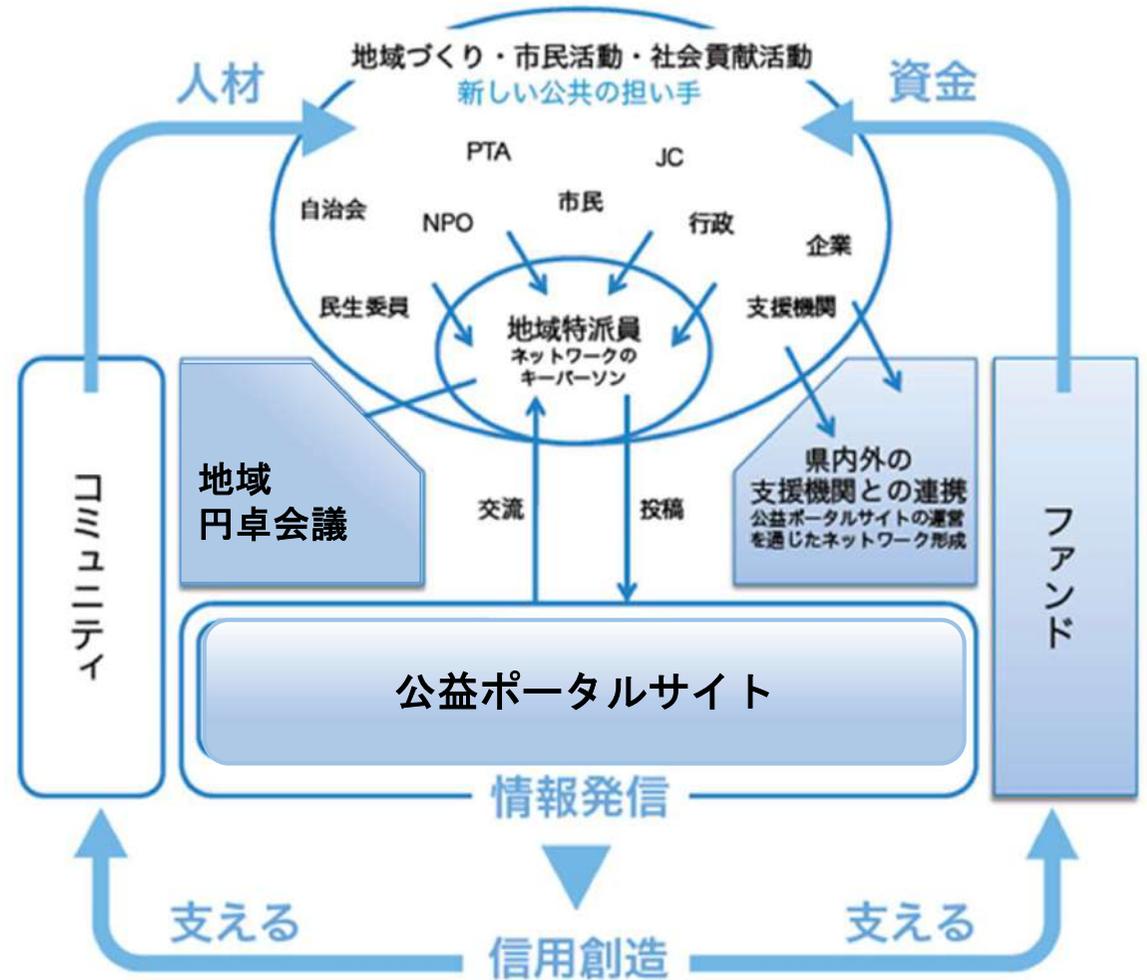
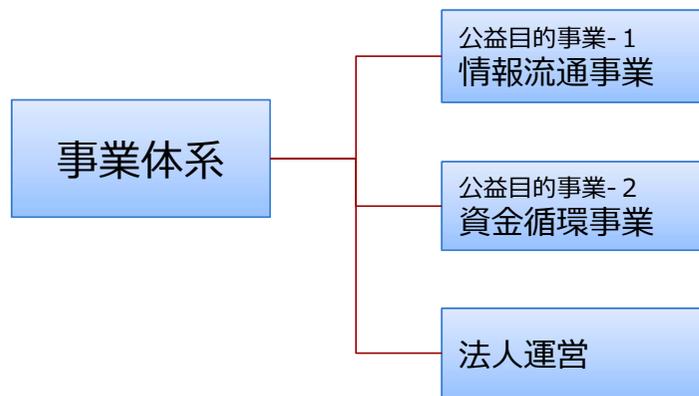
事業スキーム

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2024年度の活動ダイジェスト

2023年度の受入寄付額 18,031,401円 (1,972件)
前年度比 +20,200,418円 (+145件)

基金

● 寄付総額 37,991,819円 (2,160件)

- 2024年度内の採択：第17期たくす 15事業（ぴんくばんさあ・沖縄県女性の翼・一般社団法人子どもの居場所こばんち・一般社団法人サンゴ保全協会・一般社団法人おにわ・琉球frogs・沖縄県小中学校歴史教育研究会・宇宙甲子園沖縄実行委員会・一般社団法人子どもと先生を元気にする会・沖縄フリースクールネットワーク準備会・特定非営利法人グランアーク・一般社団法人Supporters' Suppoorter・社会福祉法人若杉福祉会・南城市母子寡婦福祉会・沖縄こどもホスピスのようなものプロジェクト）
- カスタマイズ 5事業（まちなか留学基金、ミマモライド基金、フードバンクオキナワ基金、愛と情熱で地域を支える呼吸子ども基金、宮古島 食支援及びシェルター支援基金）※採択済み、基金開設予定：（一社）スカラシップパートナーズ様
- じぶん基金：3基金 新崎盛暉平和活動奨励基金、琉球宇温基金、ぶとーや&ルイス沖縄文学基金
- テーマ型基金：6基金：うむさん基金（うむさんラボ）、沖縄まちと子ども基金、沖縄・離島の子供派遣基金、首里まちづくり基金、みらいファンド沖縄を支援する基金、まちなか留学HelloWorld基金）
- 前年度受付寄付総額 17,791,401円

助成

● 助成総額 86,683,015円 休眠預金事業含む（休眠以外：13,456,700円）

- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 1団体（60万円）、琉球宇温基金 助成実施 3団体（合計：60万円）

● 地域円卓会議が好評！ 19回開催・支援

- 開催場所（那覇市、うるま市、渡嘉敷村、渡名喜村、など）
- テーマ（認知症まちづくり、共同堆肥舎とローカルSDGsを考えるなど）
- 伴走支援円卓会議（休眠預金事業関連：5本 なはSDGs事業：2本）

課題 解決

● 休眠預金活用事業、2023年度緊急支援枠決定

- 2021年度通常枠：「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」→2025年3月終了予定
- 2022年度コロナ枠：「みんなの配信プラットフォーム事業」→2024年3月事業終了 2024年監査
- 2023年度緊急支援枠：「多様な参画で実現する支援される側の尊厳を守る食支援事業」



2024年12月21日
寄付と助成のプログラム「たくす」事業報告会



2024年12月5日
沖縄市における自立支援のゴールを目指した食支援について考える地域円卓会議

2024年度 資金循環 情報流通 実績

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

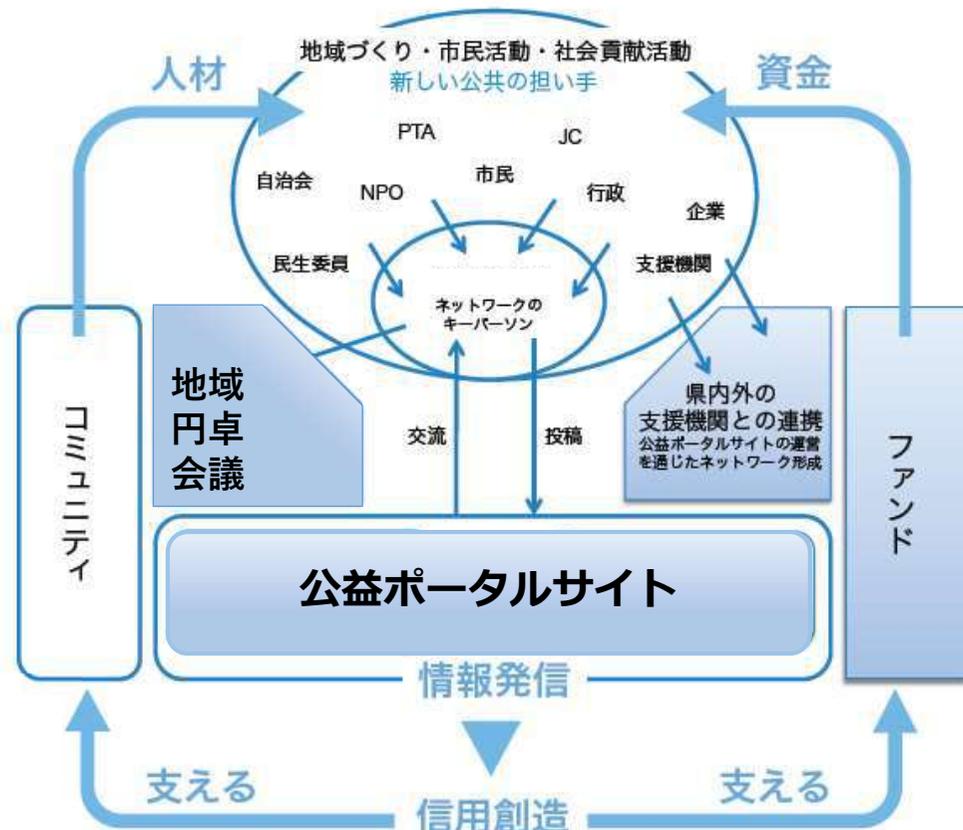
地域課題の共有 沖縄式地域円卓会議 19件・508人



なはSDGs事業 持続可能な地域拠点を考える地域円卓会議 in 沖縄大学アネックス 共創館 2024.11.17

白書の発行 2冊

- ・ 認知症と共生する これからの地域づくり白書
- ・ 尊厳を守る食支援を多様な連携で支える沖縄を目指して



資金支援 基金（寄付・助成）29基金 寄付総額 37,991,819円 (2,160件) 助成額 13,456,700円

- ・ 寄付と助成のプログラムたくす 20件
- ・ テーマ型基金 6件
- ・ じぶん基金 (DAF) 3件



休眠預金事業 2事業 10団体 助成額 73,226,315円

- ・ 「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」(2021年度通常枠)
- ・ 多様な参画で実現する支援される側の尊厳を守る新たな食支援事業(2023年度コロナ枠)

県内連携

地域づくりを支援する助成財団ネットワーク

ミッションに基づき2024年度に目指す成果目標

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

法人運営

公益ポータルサイトのリニューアル後の最適な運用

- 社会課題の解決に取り組む法人形態が多様になっていることから、新たな活動団体データベースを作成。情報充実と運用、公益性を高めるための情報開示の在り方について検討
- 公益ポータルサイトの情報流通のコンセプトの再検討
- 企業の社会貢献（CSR、CSV）の見える化（PRの場）することでビジネスチャンスも、企業広告を載せる（投資側も含めての視点、ESG投資）再掲
- アニュアルレポートの作成し、情報公開、コミュニケーションツールとして活用

基金目的を達成する為の基金運営方法の構築

- 基金特性ごとに分類し、終結、継続などの判断をおこなっていく伴走支援の方法として、運営委員会方式を導入する。団体にステークホルダーをつける）今後の条件とするか。運営マニュアルの策定。みらいFの商材にはなっている。
- 過去の助成事業実施報告について、これまでの共感による生まれたストーリーを公開

寄付環境を担う人材育成と遺贈寄付の取組

- PO人材育成（FRと連携、沖縄20名、沖縄だけでなく）で。人材育成の視点
- 遺贈寄付の相談を受けれる人材の育成。遺贈の窓口の強化と普及啓発をはかる
- 寄付者コミュニケーションツールによりDX化をはかり、デジタルによる（領収書発行や送付業務）体制の構築

多様な主体が参画し社会課題に取り組むための課題の共有とリソースの提供

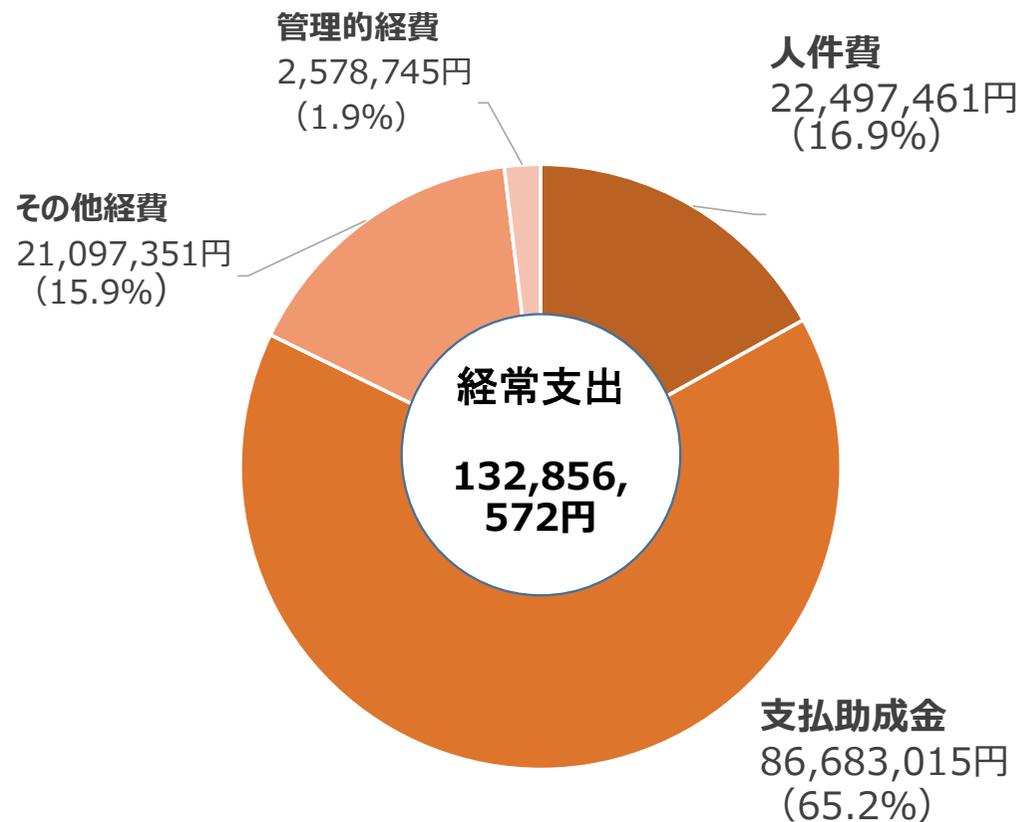
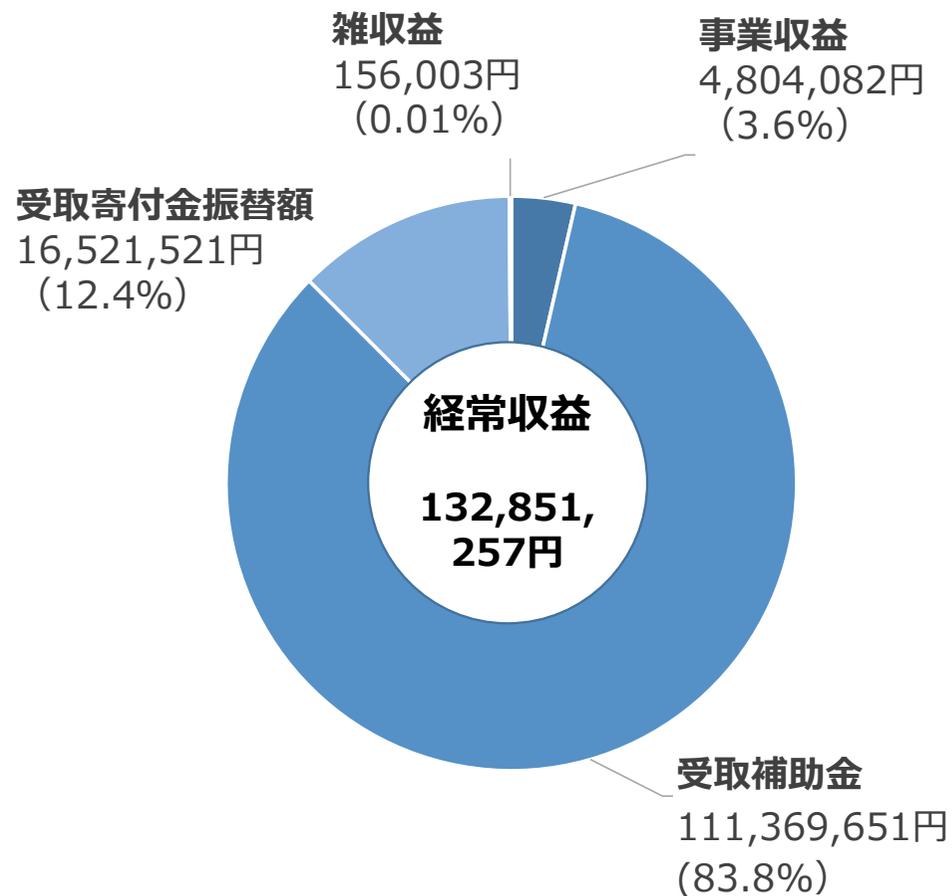
- 休眠預金事業の終結した事業（部活、みんなの配信）に対して新規リソースの調達と体制の構築
- 休眠預金事業について、コレクティブインパクトをめざし白書として社会に発信する
- 各事業担当POが連携し、互いに情報交換し、高めあうための場の設置
- 沖縄の社会課題を共有共感する円卓会議の実施
- 沖縄式地域円卓会議を担える人材育成（司会、ファシリタターなど）

ガバナンス・コンプライアンス体制を高め社会的に信頼される財団運営の構築

- ガバナンス・コンプライアンス委員会の運営（コンプライアンス研修など）
- 内部通報窓口の設置
- 職員の増加に伴う労働環境の整備
- 事業規模拡大に伴う執行体制の再構築とDXでの負担軽減
- 財政的に安定した経営基盤の構築



2024年度収支内訳



決算（前年度実績対比）－経常増減の部

	2024年度 (実績) (a)	2023年度 (実績) (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部 (1) 経常収益				
事業収益	4,804,082	2,340,820	2,463,262	
	3.6%	0.9%		
受取補助金等	111,369,651	230,242,850	-118,873,199	休眠預金事業2事業
	83.8%	88.4%		
受取寄付金振替額	16,521,521	27,717,869	-11,196,348	
	12.4%	10.6%		
雑収益	156,003	30,308	125,695	
	0.1%	0.0%		
経常収益計	132,851,257	260,331,847	-127,480,590	

決算（前年度実績対比）－経常増減の部

	2024年度 (実績) (a)	2023年度 (実績) (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
2. 経常増減の部（経常費用）				
事業費	130,277,827	257,612,191	-127,334,364	
	98.1%	99.0%		
内人件費	22,497,461	21,544,392	953,069	
	16.9%	8.3%		
内支払助成金	86,683,015	210,070,630	-123,387,615	
	65.2%	80.7%		
内その他経費	21,097,351	25,997,169	-4,899,818	
	15.9%	10.0%		
管理費	2,578,745	2,720,478	-141,733	
	1.9%	1.0%		
経常支出計	132,856,572	260,332,669	-127,476,097	
当期経常増減額	-5,315	-822		

寄付金額と件数の推移



寄付金額

251,719,084円

延べ寄付者数

9,042件

公1 情報流通事業

沖縄の寄付文化醸成のため全国との連携を図っている。2024年度は、全国コミュニティ財団協会では年次大会に参加し情報収集を行った。会員数は33法人と年々増加傾向にあり、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めている。また、全国レガシーギフト協会と連携し、いぞうの窓口を開設し、遺贈寄付の推進に取り組んでいる。

「公1 情報流通事業」は、リニューアルした公益ポータルサイトの運用を行い、寄付者や寄付募集を募る団体にとっても活用しやすい寄付システムの導入を図り、デジタル化を進めた。また、社会課題解決に取り組む団体の増加や法人形態の多様化に対応した団体情報の在り方をの検討を行い実装した。

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 - (1)	公益ポータルサイトの運営	通年	<p>リニューアルした公益ポータルサイトの運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益活動に参加しやすいようにユーザーインターフェースの見直しを図った ・ 寄付募集システムは、コングラントを導入し、寄付者の個人情報管理体制を強化 ・ アーカイブの充実 ・ 活用事例を4ケース掲載 ・ 地域円卓会議による沖縄の社会課題の情報発信 ・ 公益活動に取り組む団体を再定義し、法人格が多様になっていることから「支援先団体」のページで情報公開をおこない利用団体の公益性を担保した ・ 当法人の情報公開を積極的におこない透明性を高めた <p>2024年2月より運用開始</p> <p>セッション数：3.1万人</p>
公1 - (2)	他機関連携・情報収集	—	<p>全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おきなわ市民活動支援会議へ参加（2月1回） ・ 全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）年次大会、研修会への参加 ・ 全国レガシーギフト協会 会員 ・ 寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう



2024年2月より運用開始

公 1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公 1 - (4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	月1~2本 再放送あり (4本)	今年度は実施しなかった
公 1 - (5)	みらいファンドニュースの発行	随時	メール、Facebookなど即時性を活かした情報発信を行う。助成やイベント等の情報を発信し、NPOのみならず社会貢献に関心のある方へ情報を提供し、参加機会の提供を行う。
公 1 - (5)	季刊広報誌の発行		今年度の発行は特になかった。

公2 資金循環事業

休眠預金事業の実施を通じ、「認知症と共生するこれからの地域づくり白書」および「尊厳を守る食支援を多様な連携で支える沖縄を目指して」の2つの白書をまとめ、シンポジウムを開催し社会に発信することができた。

「寄付と助成のプログラム」では、第16期は10事業、第17期は15事業と、寄付金控除の仕組みを理解し活用する団体が増えてきたが、寄付が集まる団体と集まらない団体が表れてきた。今後見直しを行うためにも、動きが止まっている基金の整理を行った。

基金運営については、デジタル化の流れ、業務の効率化の観点から、寄付管理にコングラントを導入し実装、運用を行った。1年間を通じて寄付者にとっても寄付をしやすい環境を提供し、デジタル化に伴う大きなトラブルもなく運用することができた。

遺贈寄付については、2023年で、団塊の世代が後期高齢者になることからニーズが高まることが想定されており、環境整備が急がれる。実際に相談は来ており、対応できる職員と体制の構築が必要である。

「地域円卓会議」は、依頼者が多様になってきており、使われた方も広がっている。単発開催よりも前後の事業に合わせて活用されており、全体のプロセスを考え、円卓会議での役割を考える必要が出てきている。19回の開催となり、特に司会の人材育成が必要である。



公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	テーマ型基金 C002 沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	2024年度は特に活動を行わなかった。
公2 - (1)	テーマ型基金 C003 沖縄・離島の子ども派遣基金	2020年度設置	2019年度休眠預金事業「沖縄・離島の子ども派遣基金事業」の実施にともない、基金設置。 2024年度は、大きな動きはなかったが、沖縄電力（ポイントサイトmore-e経由）からの継続的なご寄付があった。

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	テーマ型基金 C005 まちなか留学HelloWorld 	2020年度設置	Pc007（たくすカスタマイズ）からテーマ型基金へ移行 「世界各国に友達を！まちなか留学体験を様々な境遇の子どもたちに提供したい」提案者：ハローワールド株式会社 募集： 第1次 実施日：2025年4月20～21日 実施数：69名 ※そのうち、約35名に対して基金からの助成金を使用 報告会：2024年5月11日@沖縄市市民会館
公2 - (1)	テーマ型基金 C006 首里まちづくり基金	2022年度設置	基金の目的 首里地域のまちづくりの事業に対して基金を設置、寄付募集を行うと同時に、地域内から応募された企画に対して助成金を届けることで、首里城復興に合わせた地域の課題解決や地元の方にも観光客にも魅力的なまちづくりに寄与すること。 提案者：首里城周辺まちづくり団体連絡協議会 当基金運営委員会の参加団体 <ul style="list-style-type: none"> • 1) 古都首里のまちづくり期成会 2) 首里振興会 • 3) 御茶屋御殿復元期成会 4) 城西小学校区まちづくり協議会 • 5) 首里三ヶ城南校区まちづくり協議会 • 6) NPO法人 首里まちづくり研究会(すいまち研) ※首里社会議事務局担当 さらにオール首里を目指し以下の団体も賛同参画 <ul style="list-style-type: none"> • 7) 城東小学校区まちづくり協議会 8) 石嶺小学校区まちづくり協議会 • 9) 大名小学校区まちづくり協議会 2024年度は、新規募集は行わなかった

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第16期たくす	寄付募集支援期間 2023年9月～2024年8月	寄付募集期間 ～2024年8月31日 採択団体：10団体 <ul style="list-style-type: none"> • NPO乳がん患者の会ぴんく・ぱんさあ（継続） • 一般社団法人 沖縄県女性の翼（継続） • 一般社団法人 おにわ（継続） • 一般社団法人子どもの居場所こばんち（継続） • 一般社団法人サンゴ保全協会（継続） • (株)琉球frogs（新規） • 羽地地区高齢者元気化プロジェクト（新規） • 一般社団法人子どもと先生を元気にする会（新規） • 短編アニメ&実写版「琉球の歴史・沖縄の歴史」製作・普及推進委員会（新規） • 宇宙甲子園沖縄実行委員会（新規） 寄付受入総額 13,215,380円
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第17期たくす	寄付募集支援期間 2024年9月～2025年8月	募集期間：2024年6月28日～2024年8月2日 選考会：日時：2024年8月21日 場所：みらいファンド沖縄事務所及びオンライン会議システムZOOM 採択団体：15団体 <ul style="list-style-type: none"> • NPO乳がん患者の会ぴんく・ぱんさあ（継続） • 一般社団法人 沖縄県女性の翼（継続） • 一般社団法人 おにわ（継続） • 一般社団法人子どもの居場所こばんち（継続） • 一般社団法人サンゴ保全協会（継続） • (株)琉球frogs（継続） • 一般社団法人子どもと先生を元気にする会（継続） • 短編アニメ&実写版「琉球の歴史・沖縄の歴史」製作・普及推進委員会（継続） • 宇宙甲子園沖縄実行委員会（継続） • 沖縄フリースクールネットワーク準備会（新規） • 特定非営利法人グランアーク（新規） • 一般社団法人Supporters'Suppoorter（新規） • 社会福祉法人若杉福祉会（新規） • 南城市母子寡婦福祉会（新規） • 沖縄こどもホスピスのようなものプロジェクト（新規）

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間	
基金名		助成先	所感
pc003	首里城アーカイブ基金	沖縄デジタルアーカイブ協議会	2019年度設置 →2022年度助成済 報告書提出 2024年度終結
pc005	多文化ネットワークfuふ！おきなわ基金	多文化ネットワークfuふ！おきなわ	2020年度設置 1回助成済 残り助成可能額 約40万円
pc008	ミマモライド基金	合同会社トキニライド	2020年度設置
pc009 金	宮城已知子ピースフィルムライブラリー基金		2020年度設置 →2022年度助成 報告書提出 2024年度基金終結
pc010	フードバンクオキナワ基金	フードバンクセカンドハーベスト沖縄	2021年度設置

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	2015年設置	基金設置者より2024年8月をもって基金目的を達成したため終結
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置 寄付募集支援期間 2020年4月～	<p>沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（第7期）募集期間：2024年5月1日～5月31日 ・選考会：日時：2024年6月24日（金）18:00～ 場所：みらいファンド沖縄事務所（Zoom併用のハイブリッド式） ・申請数：7件 ・採択：団体：1団体 <ul style="list-style-type: none"> ・「辺野古新基地建設阻止県民訴訟」（辺野古新基地建設阻止弁護団）60万円 ・2024年「新崎盛暉平和活動奨励基金」活動報告並びに授与式・シンポジウム 日時：2024年9月14日（土）14～16時半（開場13時半） 場所：沖縄県教職員共済会館 八汐荘 屋良ホール（那覇市松尾1丁目6-1） 第1部 第7回採択者活動報告・第8回授与式 <p>第2部 シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）「住民の訴訟」経過説明 「辺野古新基地建設阻止弁護団」 弁護士 中村 昌樹 氏（新都心法律事務所） （2）基調講演 テーマ：「辺野古新基地建設にかかる辺野古大浦湾 住民の訴訟の意義、国による代執行の問題点」（仮）徳田 博人 氏（行政法・琉球大学教授） （3）原告団の思い 金城武政氏ほか

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J005 琉球宇温基金	2019年設置	<p>志半ばで亡くなった宇温が参画していた活動をサポートし、課題の解決に貢献すると共に彼の遺志を引き継ぎ、彼の「幸せをつなぐ」という志を引き継ぎたい家族と有志が集まり、この基金を設立。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会：琉球宇温基金 事務局 日時:2024年9月28日(土) 11:00-12:00 場所: 未来ファンド沖縄事務所 <p>出席者(敬称略)川崎艶子、本村 真、野入直美、小島 肇、山本和哉、平良斗星、川崎真一、川崎明宙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金額：30万円×2件 アメリジャンスクール・イン・オキナワ 30万円 子どもの居場所学生ボランティアセンター(学生離島派遣) 15万円- その他 新規助成 15万円
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J006 中野五海篠木あつ子基金	2020年4月設置	<p>国民国家の枠組みに囚われない平和意識の覚醒・構築（パラダイムチェンジ）を指向する研究。若手及び民間研究者の研究活動を助成し、その成果を社会に還元すること。</p> <p>今年度以降は募集せず報告を行い、今後終結予定</p>
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J007 ぶとーや&ルイス沖縄文学基金	2024年11月設置	<p>目的 沖縄における文学作品の未来のため、資産を投じて沖縄文学を盛り上げ、沖縄文学を世界に紹介してゆく。</p> <p>背景 寄付者の比嘉良治氏は、沖縄がアメリカ統治下時代に東京の美大に入学し、卒業後単身ニューヨークに移住して絵画や写真でアートの世界を追求。ロングアイランド大学の美術教授になり、学生から選ばれるベスト教授賞も受けてきた。人を育て個々の持つ個性あふれる芸術性を引き出す力を有する。</p> <p>写真家から見た時、物書きの分野は執筆、出版、翻訳と世界に出るまでに、制作するための費用がかかる。また沖縄文学を広く世界に紹介するには課題もある。方言の翻訳にはおいては、日本語の翻訳のみならず方言についても精通している必要がある。</p>

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファンドレイジング等の支援に関する業務	1月	<p>寄付募集システムとしてコングラントを導入し、ICTの推進を図り、個人情報管理体制を高め、寄付者や寄付募集团体が利用しやすく、寄付管理をしやすい仕組みの構築を図った。</p> <p>・寄付者に対して発行する寄付受領書のデジタル発行を行い、紙の受領書が必要な場合は個別に対応した。デジタル化に伴う、寄付者からの苦情は特になかった。</p> <p>延べ寄付者数：2,016件 寄付金額：37,991,819円</p>
公2 -(5)	<p>地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム</p> <p>■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわアジェンダ21県民会議、沖縄県企画部、(公社)沖縄県地域振興協会、社会福祉法人沖縄県共同募金会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、(公財)沖縄県文化振興会、沖縄銀行、琉球銀行、コープ沖縄、沖縄子どもの未来県民会議、琉球新報、(公財)みらいファンド沖縄</p>	2月	今年度は実施せず

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	<p>休眠預金活用事業 2021年度通常枠 「見守り自販機を活用した道迷い搜索と地域作り～認知症でもお出かけできる地域作りを目指して～」 【PD：平良斗星 担当PO：松田可奈子】 地域振興協会とコンソーシアムで実施</p>	2021年2月～ 2025年3月	<ul style="list-style-type: none"> 申請者：みらいファンド沖縄・地域振興協会JV 申請金額：151,651,940円（3年） 資金提供契約日：2月28日 <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/10 グランアーク円卓会議in首里 1/31 事後評価円卓会議 2/21 実行団体ふりかえり研修 <p>事業報告</p> <p>市民コミュニティ財団発「認知症まちづくり」白書発行記念シンポジウム たとえ認知症になっても、自分らしく生き続けられる社会とは？ ～認知症×地域づくり×啓発のアップデートについて考える～ 日時：2025年2月28日（金）15時～18時（受付開始14時30分～） 会場：沖縄県総合福祉センター403研修室</p> <p>白書</p> <ul style="list-style-type: none"> 『認知症と共生する これからの地域づくり白書～わたしが認知症になっても、自分らしく生き続ける社会を目指して～』 <p>実行団体（本監査実施状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> 西原町社会福祉協議会 3/24 済 アガペ会 3/21 済 グランアーク 調整中 Green Star OKINAWA 調整中 南風原町社会福祉協議会 3/25 <p>→2025年4月にまたがっての監査実施</p>



◀認知症と共生する これからの地域づくり白書



▲2/28 白書発行記念シンポジウム

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 - (5)	休眠預金活用事業 新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応 支援助成 『みんなの配信プラットフォーム』事業	2022年12月～ 2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> 期間：2022年12月～2024年3月 契約額：184,390,000円（内助成150,000,000円） 確定金額：182,280,989円（内確定助成額：137,895,389円） JANPIA本監査：2024年10月17日（木）13：00～14：30 監査報告書を受領：2024年11月25日
公2 - (5)	休眠預金活用事業2023年度緊急支援枠 多様な参画で実現する支援される側の尊 厳を守る新たな食支援事業 【担当PD / 平良・安谷屋 PO 石原・又 吉】	2024年3月11日 ～2025年3月31 日	<p>契約額：116,235,294円（内助成100,000,000円）</p> <p>事業報告 多様な連携で実現する「尊厳を守る」沖縄の食支援を考えるシンポジウム 日 時：2025年3月9日(日) 10:00-13:00 場 所：那覇市職員厚生会 多目的ホール 参加者数：54名（事業実行団体、NPO・市民団体等、社会福祉協議会等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 白書（事業報告） 沖縄の課題共有白書④ 「尊厳を守る食支援を多様な連携で支える沖縄を目指して ～誰もがフードセーフティネットにアクセスできる社会とは～」 <p>実行団体（本監査の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 食支援 沖縄アレルギーゆいまーるの会 3/13 済 食支援 呼吸子ども無料食堂 3/17 済 食支援 一般社団法人まちづくりうらそえ 3/19 済 パントリー NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄 3/13 済 パントリー 社会福祉法人沖縄市社会福祉協議会 3/26 パントリー 一般社団法人宮古島こどもこそだてワクワク未来会議 3/27



◀沖縄の課題共有白書④



▲3/9 沖縄の食支援を考えるシンポジウム

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	令和6年度なはSDGs推進事業～多様なつながり地域づくり～	2024年6月～2025年3月	<ul style="list-style-type: none"> 概要：SDGsの活動を広げるためまちづくりの新しい資金調達的手法SIB（ソーシャルインパクトボンド）を用いて成果連動型補助金の構築を目指す。 まちなか研究所わくわくが事業主体として那覇市より受託し（4社：みらいファンド沖縄。ケイスリー、PSI）みらいファンドは一部業務委託を受ける。 業務：シンポジウム等の進行、助成募集、選考会円卓会議運営等。 契約額：817,190円（事業主体 まちなか研究所わくわく） 助成実施団体 2団体 <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人琉球フィルハーモニック 『那覇市における部活動の地域移行に関する調査及びモデルケースへの模索』 交付決定額 500,000円 労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団 沖縄事業所 『みんなののうち「よりみん」多世代型コミュニティの居場所づくり』 交付決定額 500,000円 事業実施 <ul style="list-style-type: none"> 2/8 社会を変えるお金の使い方を考える円卓会議 2/13 第8回SIB検討会議 3/6 第4回選考会



▲2/8 社会を変えるお金の使い方を考える円卓会議

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	沖縄政策金融公庫 ソーシャルビジネス の現況レポート作成	2024年11月中旬 ～2025年3月10日	<p>概要：社会課題が多様化してきた今、行政による福祉的解決には限界がありソーシャルビジネスには注目と期待が寄せられ、公庫でも社会の課題解決を目指す「ソーシャルビジネス」支援に力を入れている。公庫業務及びソーシャルビジネスの担い手を積極的に支援する一助とするため、事業者ヒアリング等により沖縄県のソーシャルビジネスの現況を調査する。</p> <p>期間：2024年11月中旬～2025年3月10日 契約額：998,613円</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 業界事情・事例・課題の情報収集(2) 調査レポート構成・企画の支援(3) 調査レポート原稿案の作成（「融資事例を中心とした沖縄県内におけるソーシャルビジネス関連の現況(仮題)」として作成する。）(4) ヒアリング調査の実施 (4件：那覇市1、沖縄市1、南城市1、石垣市1)(5) ヒアリング先との日程調整(6) 記者発表の同席及び調整支援 <p>一部業務委託 まちなか研究所わくわく 385,000円（うち消費税額35,000円）（2月理事会にて、役員間取引の議決済）</p>

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：19回(内派遣1回) 参加人数：599名（昨年度508名 昨年比91名）
日付	内容	主催	参加人数
1	4/13（土） 誰もが生きやすい地域を考える地域円卓会議in高志保	社会福祉法人 海邦福祉会	34名
2	7/21（日） 移動に関する認知症まちづくり円卓会議	沖縄認知症見守りコンソーシアム	43名
3	8/4（日） 食支援を通して尊厳を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	24名
4	8/12（月） 誰でも使える公民館のあり方考える地域円卓会議	宜野湾市・宜野湾市教育委員会	28名
5	8/28（水） 認知症まちづくり地域円卓会議 in 北中城	医療法人アガペ会 沖縄認知症見守りコンソーシアム	22名
6	10/12（土） 【第二弾】若年性認知症に関する地域円卓会議	沖縄認知症見守りコンソーシアム	20名
7	10/27（日） 若狭地域における部活動の地域移行を考える地域円卓会議	那覇市	29名
8	11/7（木） 渡名喜観光島づくり地域円卓会議	渡名喜村	22名
9	11/17（日） 持続可能な地域拠点を考える地域円卓会議	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団沖縄事業所、 那覇市	34名
10	12/5（木） 沖縄市における自立支援のゴールを目指した食支援について考える地域円卓会議	社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会、 公益財団法人みらいファンド 沖縄	29名

公2 資金循環事業

	日付	内容	主催	参加人数
11	1/10 (金)	【第2弾】認知症まちづくり地域円卓会議in首里	特定非営利活動法人グランアーク沖縄認知症見守りコンソーシアム	11名
12	1/31 (金)	まちぐわーの安心と安全を考える地域円卓会議	那覇市議会議員 外間ゆり	38名
13	1/31 (金)	【第4弾】認知症まちづくり事後評価地域円卓会議	沖縄認知症見守りコンソーシアム	15名
14	2/4 (火)	共同堆肥舎とローカルSDGsを考える地域円卓会議	琉球大学共創拠点運営部門地域共創プロジェクトチーム	60名
15	2/8 (土)	社会を変えるお金の使い方を考える地域円卓会議	那覇市	80名
16	2/14 (金)	歴史文化遺産の保存・活用に関する地域円卓会議	うるま市教育委員会	79名
17	2/19 (土)	渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議	渡嘉敷村、令和6年度渡嘉敷村観光誘客受入委託業務受託会社・沖縄JTB株式会社	15名
18	3/1 (土)	シングルマザー世帯の切れ目ない支援を考える地域円卓会議	公益財団法人オリオンビール奨学財団	16名



2/4 共同堆肥舎とローカルSDGsを考える地域円卓会議



11/7 渡名喜観光島づくり地域円卓会議



公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -6)	コレクティブインパクト事業	通年	沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 ②子どもの貧困問題の解決
公2 -6)	各種勉強会の開催	随時	特になし

* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

法人運営

評議員会、理事会、コンプライアンス委員会、監事監査は滞りなく実施した。

今までシェアオフィスを利用していたが、職員の増加にともない、那覇市から浦添市に事務所移転を行い、職場環境を整備し、職員数の増加、セキュリティ、情報管理の面においても強化することができた。

引き続き税理士、社労士と顧問契約を結び、法人運営を行った。

内部通報窓口からの通報件数は0件。

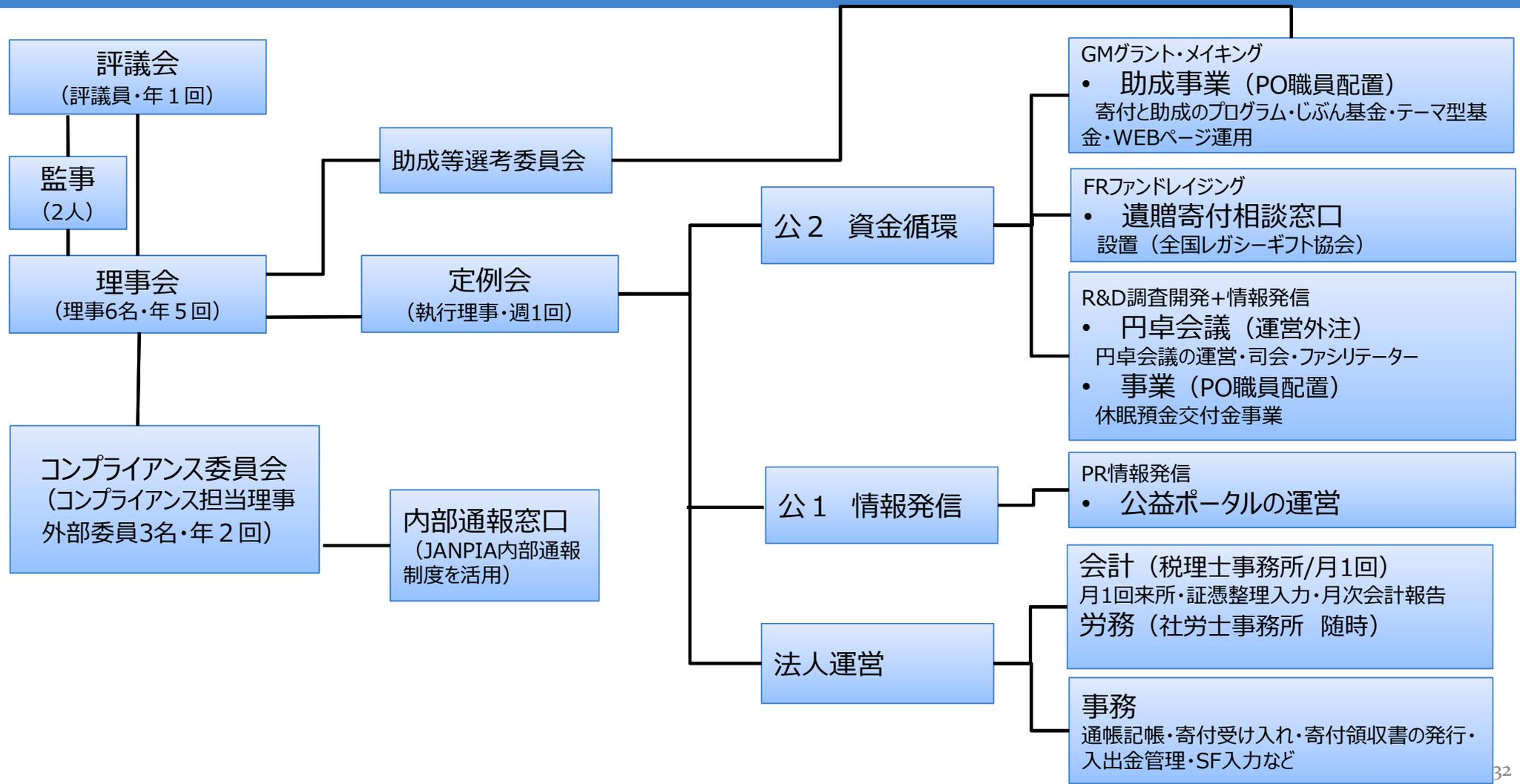
法人運営

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	評議員会の開催	6月	<p>第1回 定期評議委員会 日時：2024年6月13日（木）13:30～15:30開催 場所：みらいファンド沖縄 事務所及びオンライン会議システム（オンライン参加なし） 出席理事：稲垣純一、真喜屋光子、續洋子、本村真 ＊本評議員会後、本村氏が評議員を辞任</p> <p>第2回 臨時評議員会 日時：2024年12月18日 方法：書面による決議 内容：事務所移転にともなう定款変更</p>
法人	監事監査	5月	<p>日時：2024年5月8日（月）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 監事：名城佳枝 山崎新</p>
法人	理事会の開催	通年	<p>第1回 2024年5月17日（金）13:30～15:30 前年度事業報告書・決算書の承認など 第2回 2024年6月13日（木）電磁的記録により実施（決議の省略） 代表理事の選任 第3回 2024年8月2日（水）10:00～12:00 法人運営状況報告、助成褒賞等選考委員会 選考結果報告など 第4回 2024年11月21日（木）14:00～16:00 法人運営状況報告、臨時評議員会の招集など 第5回 2025年1月24日（金）書面による議決 主たる事務所の移転の件 第6回 2025年2月25日（金）書面による議決 役員関連会社との取引の件 第7回 2025年3月25日（火）10:00～12:00 法人運営状況報告、2025年度事業計画及び予算の件など 場所：みらいファンド沖縄 事務所 および オンライン会議Zoom</p>
法人	コンプライアンス委員会の開催	4月 10月	<p>コンプライアンス規定の改定を行い、開催月を変更 第1回 2024年10月25日（金）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 委員：大浅田均、保田隆男、知念忠男（理事）、伊波（事務局）</p>

法人運営

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	法人事務所移転	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県浦添市前田1-6-24 トミハウス1階に移転 登記変更 移転：令和7年1月24日 登記：令和7年2月26日
法人	事務局体制	随時	<p>定例会 毎週火曜日10時 未来ファンド定例（常務理事および担当職員にて実施）※隔週 毎週火曜日10時 PO定例（常務理事および担当職員にて実施）※隔週 毎週水曜日10時 休眠預金－食支援定例（常務理事および担当職員にて実施） 毎週木曜日10時 休眠預金－認知症定例（常務理事および担当職員にて実施）</p> <p>職員：嘉数菜利子（週3日勤務） 法人業務及び休眠認知症業務 10名 伊波 晋（週5日勤務） 法人業務及び休眠認知症担当PO, 尊厳を守る食支援会計補助 喜久川可奈子（週3日勤務） 法人業務及び休眠尊厳を守る食支援経理担当 松田可奈子（週3日勤務） 休眠認知症担当PO 金城洋平（週1日勤務） 休眠認知症実行団体会議支援 ※4月入職 石原 輝（週3日勤務） 休眠尊厳を守る食支援担当PO 安谷屋貴子（週3日勤務） 休眠尊厳を守る食支援担当PO 又吉莉奈（週3日勤務） 休眠尊厳を守る食支援担当PO ※4月入職 下地美香（週1日勤務） 経理補助 ※6月退職 比屋根友美（週2日勤務） 休眠認知症事業に係る経理担当（うむさんより派遣）</p> <p>会計業務：大城税理士事務所に委託 月次報告 労務業務：とまと社労士事務所に委託 社保/雇用/労働保険手続き・規程整備・求人</p>

当法人におけるガバナンス 組織体制



役員一覧

■評議員（任期（4年）：2022年6月27日～2026年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ ジュンイチ 稲垣 純一	一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター 理事長
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	チェンジライフ琉球
評議員	ノハ マサヒロ 饒波 正博	なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	ツツキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

■理事（任期（2年）：2024年6月27日～2026年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ ワタル 小阪 亘	公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事
理事	オナガ ユウキ 翁長 有希	一般社団法人be.らぼらとり 代表理事
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タダヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長
理事	ナシロ ヨシエ 名城 佳枝	沖縄県金融広報アドバイザー

■監事（任期（4年）：2022年6月27日～2026年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	一般社団沖縄じんぶん考房 代表理事
監事	ヤラ トモユキ 屋良 朝之	中小企業診断士・FP事務所屋良商店

組織概要

名称	 公益財団法人 みらいファンド沖縄
英名	Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を93名の市民から寄付を頂いて設立
住所	〒901-2102 沖縄県浦添市前田1-6-24 トミハウス1階
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



設立時拠出金に寄付くださったみなさま (五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有) 新垣ちんすこう菓子店
 有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO法人アンビシャス
 石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株) エフエム那覇
 (株) エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
 大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
 NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造 (株) 金城 嘉志
 金城 和光 (株) クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
 小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
 (特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
 新星出版 (株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
 税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸
 (特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
 地域情報エージェント (株) 知花 茂 知念 金徳
 (特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
 渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
 比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
 (特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
 宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
 与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
 (有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
 匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2019）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	創業期 財団機能 構築（公益認定・ 税額控除）	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,464円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,192,501円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	開発期 助成プログラム・ 円卓会議の確立	4,920,777円	23,113,278円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,873,640円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)		12,718,093円	38,591,733円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)	普及期 事業プログラムの 実施・FR機能の 強化・確立	29,679,412円	68,271,145円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	88,110,975円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,460,444円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む
2019 (第10期)		6,560,495円	125,020,939円	4,342,750円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む

受入れ寄付額と助成の実績（2020-2029）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2020 (第11期)	緊急・展開期 休眠預金活用事業 の実施・事務局機 能の強化	7,394,952円	132,415,891円	44,208,552円	休眠預金事業の部活派遣事業とコ ロナ支援事業の助成金の内訳が 39,888,015円
2021 (第12期)		40,337,758円	172,753,649円	41,280,010円	休眠預金事業の部活派遣事業とコ ロナ支援事業の助成金の内訳が 23,711,356円
2022 (第13期)		23,890,560円	196,644,209円	69,566,490円	休眠預金事業の部活派遣事業と認 知症みまもり事業の助成金の内訳 が54,499,750円
2023 (第14期)		18,031,401円	214,675,610円	210,070,630円	休眠預金事業の部活派遣事業と認 知症みまもり事業の助成金の内訳 が187,262,913円
2024 (第15期)		37,991,819円	252,667,429円	86,683,015円	
2025 (第16期)					
2026 (第17期)					
2027 (第18期)					
2028 (第19期)					
2029 (第20期)					